

今、学校としてできること

今、新型コロナウイルス感染の拡大防止のための措置としての、学校の臨時休業の実施という予期せぬ事態に直面しています。しかし、こんな時だからこそ、学校として子どもたちのために何ができるかを考える必要があると思っています。特に3月は、子どもたちにとって卒業や進級という人生の節目に向き合う大事な時期です。子どもたちが不安やあきらめの気持ちを抱きながらこの時期を無為に過ごすのではなく、希望や誇りをもって4月を迎えることができるようにしたいです。

まずは3年生が希望をもって新しい「進路」に向き合う気持ちを抱いて中学校を巣立っていくこと、そして「卒業」という人生の大きな節目にどう向き合わせるかということが問われています。そのための重要な場としての「卒業式」のあり方を問い直し、卒業式の本質とは何か？をもう一度生徒たちと共に考えていきたいと思っています。

生徒たちはこの一年間王子桜中の誇るべき学校文化を育て発展させるための努力と貢献を続けてくれました。3年生は後輩に引き継いでいくたくさんの成果と実績を残してくれたと思っています。このように生徒たちが今まで努力したり頑張ってきたことが色褪せないように、その意義や価値を最大限に認めて励ますことができるようにしたいと思っています。

幸い私たちには考える時間が少しばかり与えられました。正解はないのかもしれませんが、最適解をみんなで模索することはできます。王子桜中の職員として、残りの一ヶ月で何ができるかをしっかり議論していきたいです。そしてそれは必ずこれからの王子桜中にとっても大きな意味をもつと信じています。